

11月19日

テーマ：「ヨッパのタビタ」

聖書箇所：使徒の働き9章36～42節

◆今日のみことば

ヨッパにタビタ（ギリシア語に訳せば、ドルカス）という女の弟子がいた。この女は、多くのよいわざと施しをしていた。使徒の働き9章36節

◆メッセージ

イエスさまの弟子ペテロさんは、いろいろな町を回って、イエスさまが神さまでありイエスさまを信じれば救われると伝えていました。ルダという町にいる時、近くのヨッパの町では悲しい出来事がおこりました。タビタさんというイエスさまの女弟子が、重い病気になってしまったのです。タビタさんはイエスさまを信じ、たくさんの人たちに良いことをしていました。夫を亡くし貧しいくらしをしている人たちのために下着や上着を作ってあげたり、やさしく面倒を見ていたのです。教会には、いろいろな働きがあります。タビタさんは、自分にできることをして教会に仕えていました。神さまの思いに満たされて奉仕してきたことは、みなに喜ばれていました。タビタさんの病気を多くの



人が心配し、祈ったことでしょう。でも、病気は良くならず、とうとう死んでしまったのです。人々はタビタさんの体を洗い、屋上の間に置きました。

そしてルダにいるペテロさんに「すぐに来てください！」と使いを送りました。ペテロさんが到着した時、人々は悲しんで泣いていました。ペテロさんは人々を部屋から出し、ひざまずいて神さまに祈りました。そして、かつてイエスさまがしたように、「タビタ、クミ（起きなさい）」と声をかけたのです。すると、タビタさんは目を開け、起き上がりました！死後2・3日はたっていたでしょう。神さまの奇蹟によって、タビタさんは生き返ったのです。ペテロさんは手を貸してタビタさんを立たせ、人々を呼び、生き返った彼女を見せました。みんなとても驚いたことでしょうね。このことはすぐにヨッパ中に知



れ渡りました。

イエスさまによって生き返らされたタビタさん。地上ではその後また死を迎えましたが、生かされている間、イエスさまの素晴らしさをあらわすという大きな使命が与えられました。生き返ったタビタさんと出会った人は、神さまの力を見たことでしょう。タビタさんを通して多くの人が神さまを信じた、と聖書に書いてあります。死という大きな問題さえも支配し解決してくださる神さまは、わたしたちの人生をも、生きるにしても死ぬにしても神さまの素晴らしさをあらわすように、導いてくださいます。



◆お祈り

「神さまが、わたしのいのちを通して、神さまの力や素晴らしさをあらわしてくださいように。」

（高槻聖書教会伝道師 玉垣麻美）